



道徳授業地区公開講座 を振り返って

9月4日(水)に道徳地区公開講座を行いました。

1年生は、全クラス同じ教材に取り組みました。登場人物、健二、大輔、雄一、先生の4人の立場にたったのロールプレイングを通して、それぞれの心情に寄り添いながら自分の考えを深めていきました。

タイトル『裏庭でのできごと』

内容項目:A 自主、自律、自由と責任
主題名:誠実な生き方

教材のあらすじ

健二、大輔、雄一の三人は、昼休みに裏庭へサッカーをしに行った。鳥の巣に侵入しようとする猫から、鳥の巣を守ろうと雄一はボールを投げた。ガシャーン。投げたボールで物置のガラスを割ってしまったのだ。雄一が報告のために職員室へ言っている間に、大輔とボールをけていた健二は、物置のガラスをもう一枚割ってしまった。

しかし、大輔は先生にうその報告をしてしまう。うその報告をしたことに憤慨する雄一。本当のことを言おうとする健二。それを止める大輔。翌日、足取り重く学校へ向かった健二は…。

《生徒のワークシートから》

Q1 サッカー部の練習後も健二の気が重かったのはなぜか。

- ・自分がやってしまったことをずっと心の中でおさえていたから。
- ・うそをついてだましているままでいいのか?言った方がいいのではないか?という葛藤。
- ・言いたいけど言い出せない。
- ・信頼がなくなる。モヤモヤが止まらない。
- ・言わなきゃいけないのは分かっていたけど、言う勇気をなかなか出せなかったから。

Q2 健二の「僕、やっぱり…」とはどういうことか。健二は職員室へ向かうときどんなことを考えていたのだろう。

- ・これ以上隠すのも自分が辛い。
- ・苦しいけど、友達としてこの決断が正しいと思った。
- ・これ以上雄一には迷惑をかけられない。
- ・大輔も自分も悪いのに、雄一だけに罪をなすりつけるのはどうなのか。

Q3 自分の間違いを謝ることで、どんなことが得られるか。

- ・今回の反省を活かして、次は絶対にやらないと意識できるようになる。
- ・心が少し楽になる。
- ・正しいことをしたとき、モヤモヤがなくなる。
- ・胸をしばりつけていた苦痛から解放される。
- ・間違いを自分で認められる人と周りから思われるようになる。
- ・仲直りすることができ、友情が深まる。
- ・この事件を乗り越えてさらに3人の絆が強くなる。
- ・責任感をもてる人になる。
- ・今後悩んだ時の解決法を知ることができる。
- ・友達としての正しい決断ができる。

感想

- ・後悔する前に先に謝ろうと思った。
- ・謝ることや自分の間違いを認めることの大切さを学んだ。
- ・目先の利益に流されず、誠実に生きていきたいと思った。
- ・自分も同じような体験があるので、気を付けていきたい。
- ・最初は謝らない派だったけど、謝ることの利点も考えられて良かった。

来週・再来週の予定 9月

		行事			
9	月	生徒会朝礼(部活動壮行会) 学:SCによるこころの健康授業	16	月	敬老の日
10	火		17	火	安全指導
11	水	職員会議 部活動 16:10 再登校	18	水	生徒会選挙
12	木	卒アル用部活動写真撮影	19	木	定期考査I週間前部活停止
13	金	卒アル用部活動写真撮影 総:テスト範囲、計画表配布	20	金	水泳指導(プール)終了
14	土	秋季総体(始)	21	土	